



副校長のつぶやき

令和5年6月23日発行 No.5

秋田大学教育文化学部附属中学校 副校長 石井 学

結果と過程、大事なのはどっち？

□結果と過程、どっちが大事？

先日、秋田市中総体が終了しました。大会ですので、勝ち負けは当然ありますが、自分の力を全て出し切ることができたのであれば、たとえ納得できない結果に終わったとしても、自分に対して「がんばったね」という言葉を掛けてほしいと思います。

さて、「結果と過程、どっちが大事なの？」という疑問をもっている人もいます。「例え結果につながらなかったとしても、これまで努力し続けた過程が大切なんだよ。」という言葉を目にしたことがある人は多いのではないかと思います。果たして、どちらが大事なのでしょうか。

【過程重視派の意見】

- ・「過程」は自分の意思でコントロールできるが、「結果」は偶然うまくいったり、失敗したりするなど、そのときの運にも左右される
- ・「過程」を大事にしていれば、失敗をしても次に生かすことができる
- ・「結果」ばかりを重視していると、「結果」さえよければ、何をしてもよいという誤った発想が生じる可能性がある

【結果重視派の意見】

- ・結果を出すためにがんばっているのだから、いくら過程がよくても結果がでなければ意味がない
- ・「結果が大事」という人もいれば、「過程が大事」という人もいるが、説得力があるのは、結果を出した人の意見だけ
- ・「結果」から切り離して「過程」だけを見ていると、うまくいかなかったことを言い訳にして、自分自身を納得させようとする

それぞれの立場で、このような考えが生じるのは仕方のないことかもしれません。私自身は、「**どっちも大事**」と考えています。自分で問題提起しながら、このような回答はどうかと思いますが、皆さんの考えは？

□なぜ勉強するのだろうか？

「なぜ勉強するの」という問いに対しては、様々な答えがあるはずです。一人一人価値観が異なりますから、その答えは人それぞれ違っているかもしれません。

例えば、

- ・将来のため(就職したり、専門の知識を得たり、仕事をしたりするのに必要)
- ・生きる力を身に付けるため
- ・自分を磨くため
- ・幅広い知識を身に付けるため
- ・やりたいことを見付けるため
- ・夢を実現するため
- ・知的好奇心を満たすため
- ・学習習慣を身に付けるため
- ・文化の継承、発展のため
- ・能力の開発、訓練のため
- ・楽しいから など

知らなかったことを知れば、今よりももっと人生が豊かになるかもしれません。自分一人ではできることは限られていますが、昔の人や今の人、世界中の優れた人が見つけた知識や知恵を理解すると、それらを活用することができます。自分が発見したことを他の人と共有していけるワクワクする体験ができます。「勉強も体験も、自分の肥やしになる」。そういう理由で勉強するのではないのでしょうか。このようなことを参考にして、自分で「勉強する目的」を探してみてください。